

平成24年 秋の叙勲

平成24年秋の叙勲では、日高町から細川育男さん（門別本町）が瑞宝双光章を受章されました。

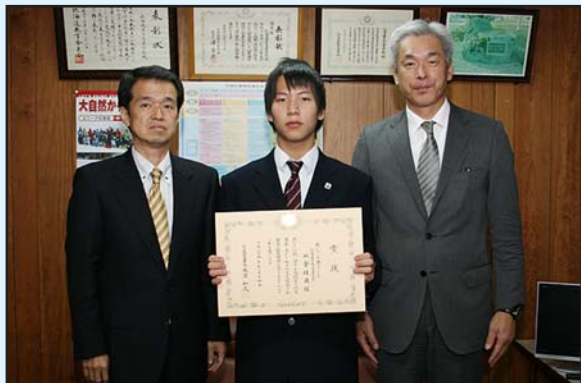
昭和35年に門別消防団団員を拝命以来35年余の永きにわたり消防団の発展及び育成強化に努められました。昭和57年には団長に就任され、迅速な状況判断と適切な指揮行動により、被害を最小限に食い止めるなど、地域の防災活動に尽力し、常に職務を自覚し研鑽努力を怠ることなく積極的に職務遂行にあたり、火災、その他の災害の発生に際しては率先垂範常に他の模範となる活躍をされました。



○瑞宝双光章
消防功勞
細川 育男 さん
日高町門別本町（76歳）



平成24年12月7日 日高町役場 町長室



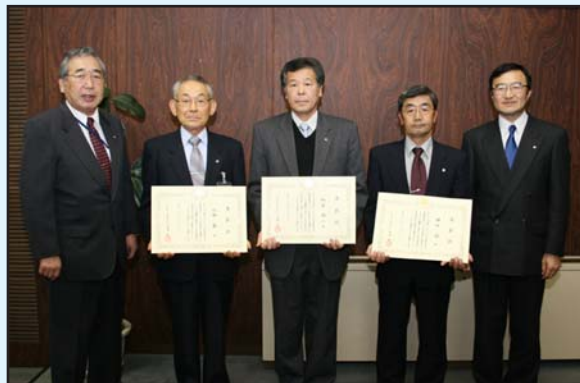
税に関する高校生の作文

日高高校生が苫小牧税務署長賞受賞

平成24年度「税に関する高校生の作文」コンクールで、日高高校2年の以倉雄飛(いくらゆうひ)君が苫小牧税務署長賞を受賞され、11月14日、同校で衣笠和久苫小牧税務署長から表彰状が手渡されました。

同コンクールは、租税教育の一環として国税庁が毎年行っており、今年は全国で182,736編の応募がありました。

以倉君は「税について思うこと」と題して、税金の種類や使われ方について調べたことを書き、生活とバランスの取れた収税によって、よりよい社会が築き上げられていくと考え、そのさじ加減を見誤らないような政治を推進して欲しいと結び、今回の受賞となりました。



社会福祉事業功労者表彰

地域住民の「よき相談者」として

11月13日、日高振興局長による社会福祉事業功労者表彰の表彰状授与が役場町長室にて行われ、4名の方が受賞されました。

小西馨さん(宮下町)、和田修一さん(新町)、田口修さん(正和)、武田卓也さん(厚賀町)の4名は、12年以上の長きにわたり、民生委員を務め、地域住民のよき理解者・相談者として、福祉の向上に貢献されました。



門別中学校3年生による地方自治の授業

まちづくりへの提言書を町長へ手渡す

11月16日、門別中学校3年生の宇野大輝君と松橋沙都子さんが役場を訪れ、町長へ町に対する提言書を手渡しました。

同校3年生は、社会科の授業で地方自治を学習するにあたり、町に対する提言書を作成することを最終目標として取り組みを始めました。

複数のグループに分かれ、気になったことや要望などを出し合いながら全体の意見をまとめ、このほど完成したものです。

「門別ICから繋がる国道交差点に信号機を設置してほしい。」「通学路の街灯を増やしてほしい。」など、たくさんの意見は、町長は「内容をよく検討して、まちづくりのために活かしていきたい。」と伝えました。



「ホッカイドウ競馬」2012全日程終了

ファンの集いやイベントに大勢の来場者!

11月15日、ホッカイドウ競馬2012シリーズが最終日を迎え、門別競馬場には大勢のファンが訪れてレースの他、日高特産市や抽選会、石狩鍋や甘酒の無料配布サービスなどたくさんのイベントを、皆さん楽しんでいました。

今年最後のレースとなった「第55回道営記念」ではモエレビクトリー号が優勝。

レース終了後には、「ファンとの集い」が開催され、多くのファンが騎手と握手やサイン、記念撮影などをして、「来年も応援しています!」と直接、声をかけていました。